

# プライバシーの設定


---

ユーザ オプション Web ページを使用して、自分のプレゼンス（あるいはプレゼンス）が他のユーザのデバイスでどのように表示されるかが識別できます。たとえば、これらのページでの変更が、Cisco IP Phone Messenger および Cisco Unified Personal Communicator での自分のプレゼンスの状態にどのように影響するかです。

## プライバシー リストの作成とウォッチャの追加



プライバシー リストにより、自分のプレゼンスを表示できるユーザが指定されます。自分のプレゼンスを表示できるユーザをウォッチャと呼びます。必須のプライバシー リストは2つあり、次のように追加のカスタム リストを作成できます。

- デフォルト：デフォルトのポリシーがすべてのウォッチャに適用され、それ以外のルールは適用されません。このリストにはメンバを割り当てられません。
- ブロック済：ブロック済ポリシーに追加されたウォッチャには、自分のステータスは常に応対不可と表示されます。
- カスタム：複数のカスタム リストを作成して、関連付けられたウォッチャとデバイスを定義することもできます。

目的	電話機での操作	ユーザ オプション Web ページでの操作
カスタム プライバシ リストを作成する	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li> <li>2. [プライバシーポリシーの一覧] セクションで [新規追加] をクリックします。</li> <li>3. リストの名前を入力して [追加] をクリックします。</li> </ol>
ユーザが自分のプレゼンスを表示できないようにする	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li> <li>2. [プライバシーポリシーの一覧] でブロック済のリストを選択します。</li> <li>3. [関連付けられているウォッチャ] セクションで [新規追加] をクリックします。</li> <li>4. 自分のプレゼンスを表示できなくするユーザのユーザ名か電子メールアドレスを入力します。</li> <li>5. [追加] をクリックして、さらにユーザの追加を続けます。</li> </ol>
自分のウォッチャ リストにユーザを追加する	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li> <li>2. [プライバシーポリシーの一覧] で自分の [ユーザ定義ポリシー] のいずれかを選択します。</li> <li>3. [関連付けられているウォッチャ] で [新規追加] をクリックします。</li> <li>4. 自分のウォッチャ リストに追加するユーザのユーザ名か電子メールアドレスを入力します。</li> <li>5. [追加] をクリックして、さらにユーザの追加を続けます。</li> </ol> <p> <b>(注)</b> デフォルト リストにはユーザを追加できません。ここでは、どのリストにもない潜在的なウォッチャがすべて含まれています。</p>

## デバイス プレゼンスの表示

デフォルトリストとカスタムリストでは、ウォッチャにデバイス タイプごとの自分のプレゼンスの表示が許可されるかどうかを識別できます。ブロック済リストでは、ウォッチャには自分のステータスが常に応対不可と表示されるため、これらのオプションをカスタマイズできません。

目的	電話機での操作	ユーザ オプション Web ページでの操作
自分の全体的なプレゼンスとデバイスごとのプレゼンスの表示をウォッチャに許可する (デフォルトリストのみ)	該当なし	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li><li>2. [プレゼンスの表示] セクションで、[全体的なプレゼンスと自分のデバイスの個々のプレゼンス] を選択します。</li></ol>
ユーザが自分のプレゼンスを表示できないようにする (デフォルトリストのみ)	該当なし	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li><li>2. [プレゼンスの表示] セクションで、[なし。常に自分を応対不可として表示] を選択します。</li></ol> <p> <b>(注)</b> 効果はユーザをブロック済リストに入れるのと同じなので、このオプションはカスタムリストにはありません。</p>
特定のデバイスのプレゼンス情報を隠す	該当なし	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li><li>2. [個々のプレゼンス設定] でクリックして、プレゼンスを表示したくないデバイスを選択します。</li></ol> <p> <b>(注)</b> このリストには、使用される特定のデバイスを追加できます (<a href="#">「カスタム デバイス タイプの追加」</a>、<a href="#">13 ページ</a> を参照)。</p>


## 全体的なプレゼンスの判別

一部のウォッチャには自分の全体的なプレゼンスだけが表示されます（これは、プライバシー リストの定義、または関連付けられたデバイスでの自分のステータスの表示方法に基づきます）。この全体的なプレゼンスはデバイス ステータスの優先度ルールの集合で規定されるものです。これらの事前設定済プレゼンス ステータスには、次のものがあります。

- 対応可能
- 不在
- 話し中
- 取り込み中
- 対応不可
- 休暇

これらの状態の優先度は修正や再調整が可能です。

目的	電話機での操作	ユーザ オプション Web ページでの操作
デフォルトの設定を使用する	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li> <li>2. [全体的なプレゼンス設定] にスクロールします。</li> <li>3. [ルールをデフォルトにリセット] をクリックします。</li> <li>4. [保存] をクリックします。</li> </ol>
プライバシールールを削除する	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [ポリシー] の順に選択します。</li> <li>2. [全体的なプレゼンス設定] にスクロールします。</li> <li>3. 削除するルールの横の [設定] をクリックします。</li> <li>4. [削除] をクリックします。</li> <li>5. [設定の更新] をクリックします。</li> <li>6. [プライバシーポリシー] ページで [保存] をクリックします。</li> </ol>

目的	電話機での操作	ユーザ オプション Web ページでの操作
既存のプライバシルールに他の条件を追加する	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシ] &gt; [ポリシー]の順に選択します。</li> <li>2. [全体的なプレゼンス設定] にスクロールします。</li> <li>3. 更新するルールの横の [設定] をクリックします。</li> <li>4. [プレゼンスルールへの新規条件の追加] フィールドで適切なオプションを選択して、[条件の追加] をクリックします。</li> <li>5. [設定の更新] をクリックします。</li> <li>6. [プライバシポリシー] ページで [保存] をクリックします。</li> </ol>
プライバシルールの優先度を変更する	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシ] &gt; [ポリシー]の順に選択します。</li> <li>2. [全体的なプレゼンス設定] にスクロールします。</li> <li>3. 優先度リストで矢印をクリックして、条件を上下に移動します。</li> <li>4. [保存] をクリックします。</li> </ol> <div style="margin-top: 10px;">  <p><b>(注)</b> プライバシ ルールは上から下への順に適用されます。ルール間で矛盾がある場合は、最初のルールが適用されます。</p> </div>
すべての条件に当てはまらない場合に全体的なステータスが表示されるように設定する	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシ] &gt; [ポリシー]の順に選択します。</li> <li>2. [全体的なプレゼンス設定] にスクロールします。</li> <li>3. 設定セクションの下部にある全体的なステータスの適切なものを選択します。</li> <li>4. [保存] をクリックします。</li> </ol>

## カスタム デバイス タイプの追加

特定のデバイスについて自分のプレゼンス ステータスをカスタマイズする場合は、デバイス リストに追加できます。

目的	電話機での操作	ユーザ オプション Web ページでの操作
<p>Cisco Unified IP Phone を追加する</p> <p>Cisco Unified Personal Communicator を追加する</p> <p>Cisco IP Phone Messenger を追加する</p>	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [カスタムデバイスタイプ] の順に選択します。</li> <li>2. [新規追加] をクリックします。</li> <li>3. [Cisco Unified Communications Manager デバイス] を選択します。</li> <li>4. [関連付けられたデバイス] フィールドで、デバイスを選択します。</li> <li>5. [デバイスタイプ名] と [説明] を入力します。</li> <li>6. [保存] をクリックします。</li> </ol>
<p>Cisco 製以外のプレゼンス認識デバイス</p>	該当なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザオプション] &gt; [プライバシー] &gt; [カスタムデバイスタイプ] の順に選択します。</li> <li>2. [新規追加] をクリックします。</li> <li>3. [サードパーティのデバイス] を選択します。</li> <li>4. [デバイスタイプ名]、[説明]、[モデル]、および [連絡先] を入力します。</li> <li>5. [保存] をクリックします。</li> </ol>